



2022年12月期第1四半期  
決算補足説明資料

2022年5月12日

株式会社  
テノ・ホールディングス (証券コード：7037)

**teno.**  
HOLDINGS

# アジェンダ

Section 1	決算概要	2022年12月期第1四半期（全社）	P 2
Section 2	決算概要 （セグメント別）	2022年12月期第1四半期	P 7
Section 3	業績予想 中期経営計画と長期ビジョン	2022年12月期第1四半期	P1 3
Section 4	トピックス		P2 2

# Section 1

決算概要  
2022年12月期 第1 四半期  
(全社)

# 売上高前年並み・減益

(全社)

売上高	2,954百万円	増減比	▲ 0.4%、	増減額	▲ 10百万円	(前年額2,965百万円)
売上原価	2,489百万円	同	+ 1.6%、	同	+ 39百万円	(同 2,449百万円)
販管費	369百万円	同	+25.2%、	同	+ 74百万円	(同 295百万円)
営業利益	95百万円	同	▲56.6%、	同	▲124百万円	(同 220百万円)
経常利益	111百万円	同	▲52.7%、	同	▲124百万円	(同 236百万円)
当期純利益	59百万円	同	▲59.9%、	同	▲ 88百万円	(同 147百万円)

(要因) 売上原価：施設増加に伴う、労務費、経費の増加  
 販管費：本部体制強化につき人件費増加並びに現場職員採用費増加  
 フォルテの子会社化に伴う費用及びのれん償却発生

- 公的保育事業 64施設 (±0) (認可保育所45施設、小規模認可保育所19施設)
- 受託保育事業 214施設 (▲4) (受託保育所126施設、学童保育所56施設、わいわい広場36施設)
- その他 11施設 (+4) (認可外保育所4施設、小規模認可保育所(事業所内保育事業)1施設、  
通所介護施設(デイサービス)2施設、住宅型有料老人ホーム3施設、サービス付高齢者向け住宅1施設)

合計289施設 (±0)

## 公的保育事業 増収減益

売上高	1,887百万円	増減比	+ 1.5%、	増減額	+ 28百万円	(前年額 1,859百万円)
セグメント利益	219百万円	増減比	▲18.3%、	増減額	▲ 49百万円	(前年額 269百万円)

## 受託保育事業 減収減益

売上高	837百万円	増減比	▲12.3%、	増減額	▲117百万円	(前年額 955百万円)
セグメント利益	7百万円	増減比	▲85.3%、	増減額	▲ 42百万円	(前年額 49百万円)

## その他 増収減益

売上高	229百万円	増減比	+52.7%、	増減額	+ 79百万円	(前年額 150百万円)
セグメント利益	6百万円	増減比	▲29.1%、	増減額	▲ 2百万円	(前年額 8百万円)

## 売上高前年並み・減益

(単位：百万円)	2021年12月期 1Q	2022年12月期 1Q	増減額	増減率 (%)
売上高	2,965	2,954	▲10	▲0.4
売上原価	2,449	2,489	+39	+1.6
売上総利益	515	465	▲50	▲9.8
販管費	295	369	+74	+25.2
営業利益	220	95	▲124	▲56.6
営業外収益	20	21	+0	+0.1
営業外費用	5	4	▲0	▲4.5
経常利益	236	111	▲124	▲52.7
当期純利益 <sup>※</sup>	147	59	▲88	▲59.9

# 連結貸借対照表概要

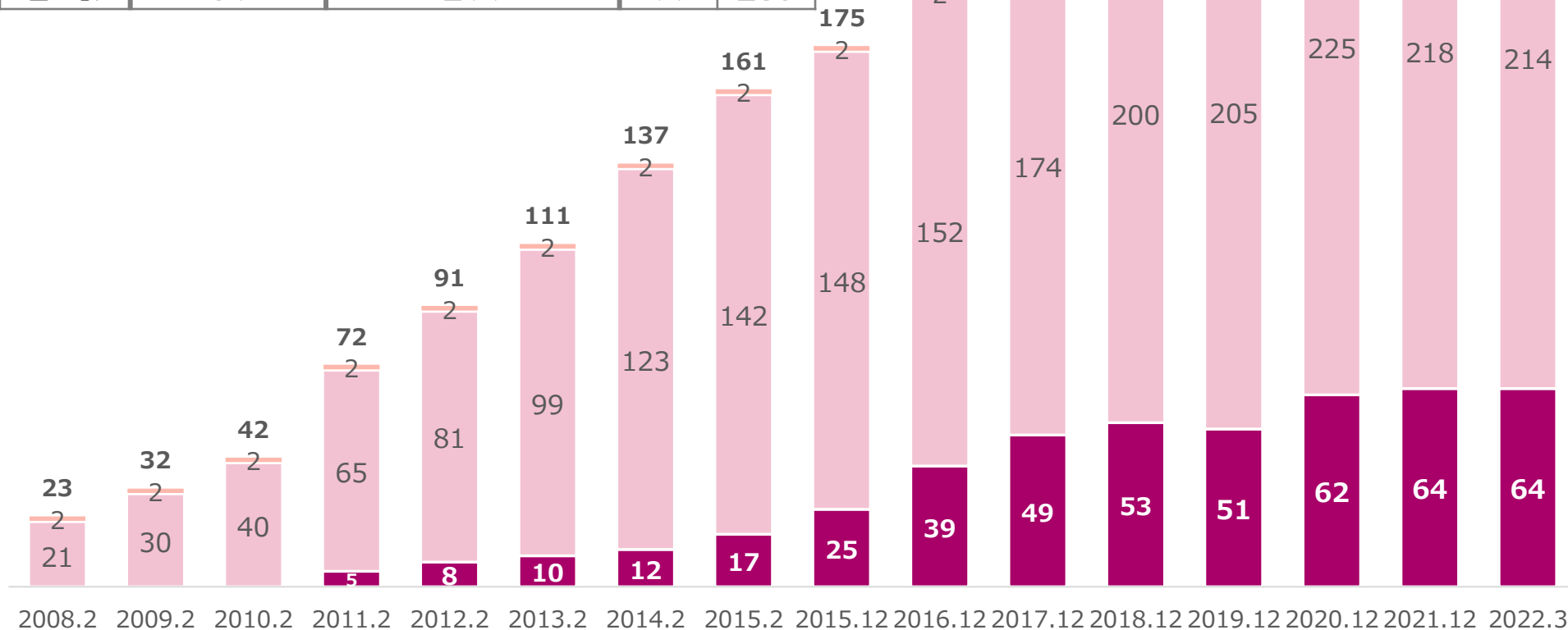
(単位：百万円)	2021年12月期	2022年12月期 1Q	増減額
<b>流動資産</b>	<b>3,215</b>	<b>3,903</b>	+688
うち現金及び預金	1,793	2,148	+354
うち売掛金（売掛金及び契約資産）	980	1,094	+114
<b>固定資産</b>	<b>4,079</b>	<b>4,793</b>	+714
うち有形固定資産	1,675	1,858	+182
うち無形固定資産	819	1,307	+488
うち投資その他の資産	1,584	1,628	+43
<b>資産合計</b>	<b>7,294</b>	<b>8,697</b>	+1,402
<b>流動負債</b>	<b>2,427</b>	<b>3,446</b>	+1,018
うち短期借入金	550	1,600	+1,050
うち1年内返済予定長期借入金	444	499	+55
うち未払金	718	697	▲21
<b>固定負債</b>	<b>2,535</b>	<b>2,937</b>	+402
うち長期借入金	2,390	2,799	+409
<b>純資産</b>	<b>2,331</b>	<b>2,313</b>	▲17
<b>負債・純資産合計</b>	<b>7,294</b>	<b>8,697</b>	+1,402

# 運営施設数の推移（セグメント別）

## ■ 首都圏、九州を中心に保育施設及び介護施設を運営

<2022年3月末 地域別施設別明細表>

	公的保育事業		受託保育事業			その他	合計
	認可	小規模認可	受託保育所	学童保育所	わいわい		
首都圏	33	4	3				40
九州	3	10	116	56	32	6	223
関西愛知	9	5	7			5	26
合計	64		214			11	289



# Section 2

決算概要  
2022年12月期 第1四半期  
(セグメント別)

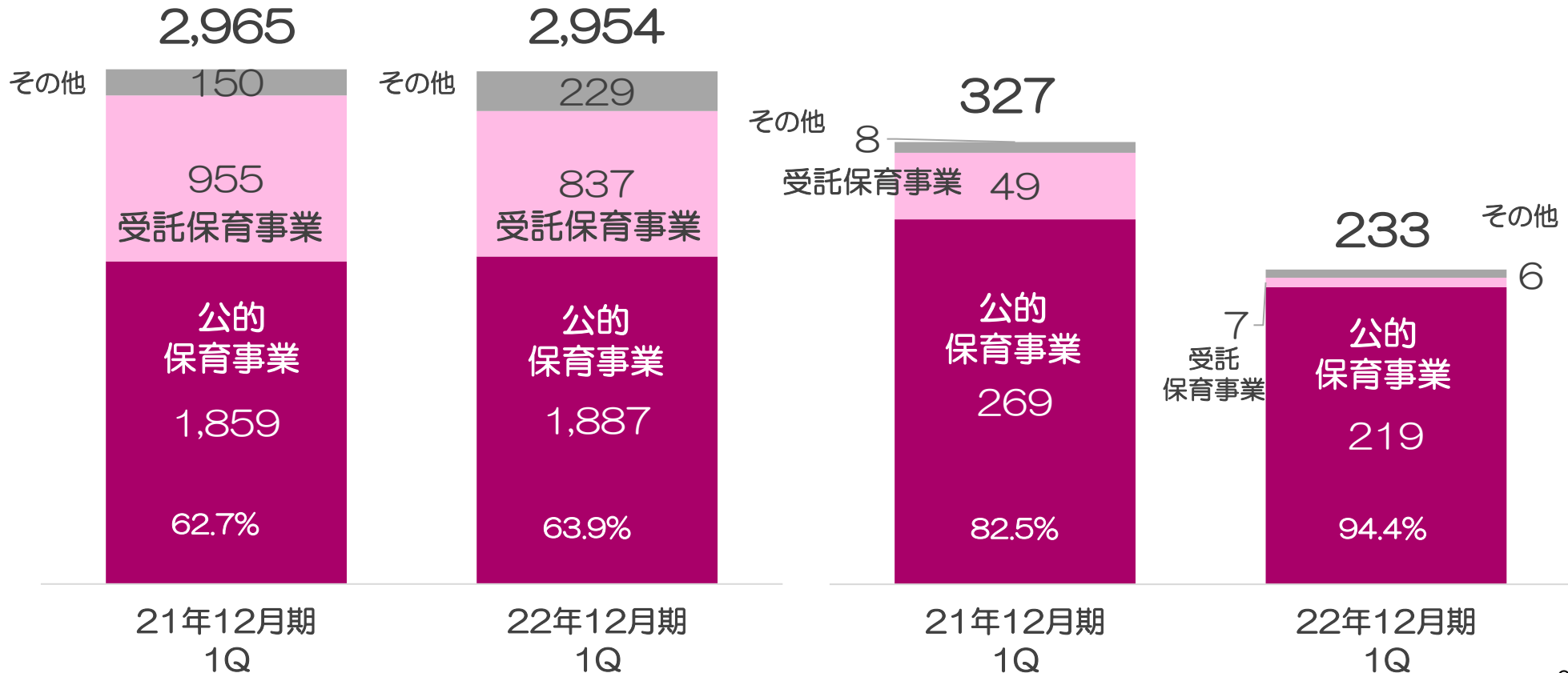


売上高の約64%と利益の約94%※を  
公的保育事業が占める

## 売上高

## セグメント利益

(単位：百万円)



※全社費用を除く、各セグメント利益の単純合算に対する割合

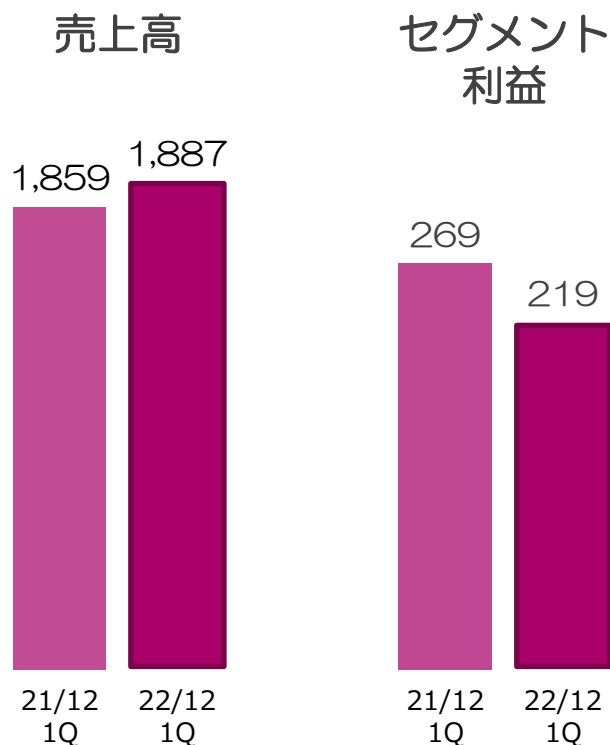
(公的保育事業)

## 増収・減益

売上高 1,887百万円 増減比 + 1.5%、増減額 + 28百万円 (前年額 1,859百万円)  
セグメント利益 219百万円 増減比 ▲18.3%、増減額 ▲ 49百万円 (前年額 269百万円)

(単位：百万円)

施設数： 64施設 (±0)



### 要因

#### 【売上面】

- 施設数 21Q1 61 ⇒ 22Q1 64 (3施設増加)
- 前期新規開設施設が寄与 (4月2施設、10月1施設) し増収

#### 【利益面】

- 2022年4月に開設した認可保育所の開設準備費用がQ1に計上
- 前期及び前々期の新規園は増収に寄与したが、充足率が低位につき売上よりもコストが先行
- 本部職員の充実及び現場職員の採用活動に注力したことで販管費における人件費や経費が増加

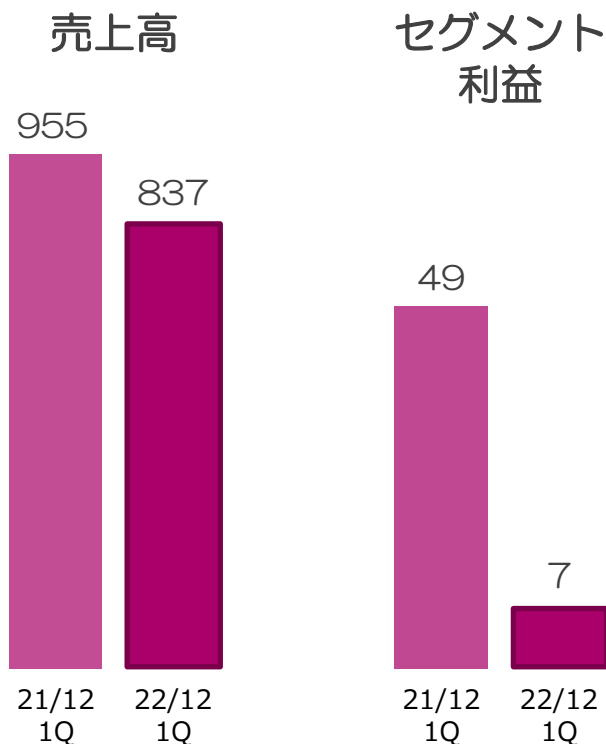
(受託保育事業)

## 減収・減益

売上高 837百万円 増減比 ▲12.3%、増減額 ▲117百万円 (前年額 955百万円)  
 セグメント利益 7百万円 増減比 ▲85.3%、増減額 ▲ 42百万円 (前年額 49百万円)

(単位：百万円)

**施設数：214施設 (▲4)**



### 要因

#### 【売上面】

- 施設数 21Q1：211 ⇒ 22Q1：214 (3施設増加)
- 前期新規開設施設が寄与 (4月8施設、9月1施設、10月1施設) したが、昨年3月末に運営を終了した受託保育所の影響により減収

#### 【利益面】

- 昨年3月末に運営を終了した受託保育所の減収影響により、売上総利益も減少。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、休園を余儀なくされた施設の稼働が減少。

⇒売上は発生しないが、雇用確保のため労務費が発生し、減益へ影響。

- 本部職員の充実及び現場職員の採用活動に注力したことで販管費における人件費や経費が増加

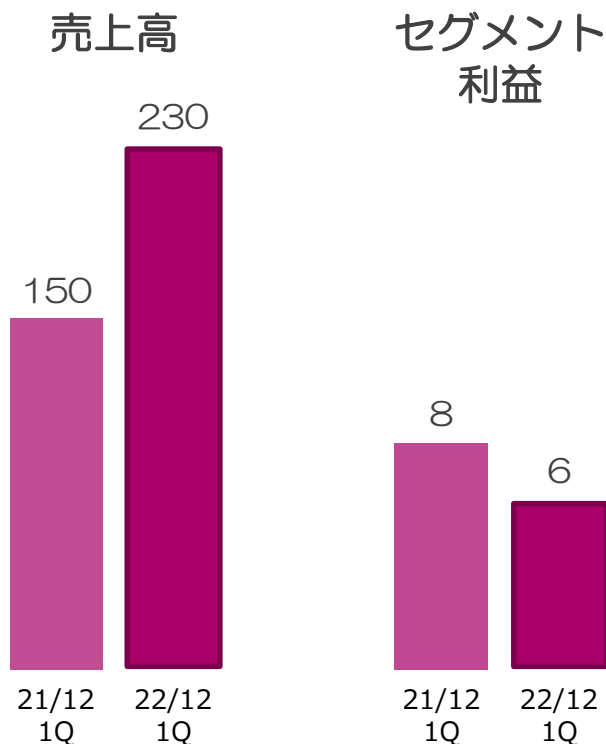
(その他)

## 増収・減益

売上高	229百万円	増減比 +52.7%	増減額 + 79百万円	(前年額 150百万円)
セグメント利益	6百万円	増減比 ▲29.1%	増減額 ▲ 2百万円	(前年額 8百万円)

(単位：百万円)

施設数： 11施設 (+4)



### 要因

#### 【売上面】

- ・2022年1月末に取得した株式会社フォルテが増収に貢献

#### 【収益面】

- ・一方で、株式会社フォルテ取得によるのれん償却も計上され、利益ベースではトントン
- ・既存事業は、前期並みに推移
- ・新規事業（結婚相談所、保活）の活動による広告宣伝費等コストが先行

# 施策の進捗状況（2022年12月期1Q）

施策		内容	1Q進捗状況
主力事業の強化	公的保育事業	<p>【新規開設】 ・株式会社テノ、コーポレーション 認可保育所：2022年4月 1施設（中央区）</p> <p>【既存施設】 ・「保育の質」向上と効率的な園運営の充実に取組 ・園運営経費の効率化及び削減余地の精査</p>	<p>4月1日に予定通り開設。</p> <p>継続実施中。</p>
主力事業の強化	受託保育事業	<p>【受託保育所】 ・新規受託先の10件獲得 ・収益改善のため委託単価交渉を継続対応</p> <p>【学童保育所】 ・新たに福岡県筑後市より受注し、2022年4月より新規運営開始予定</p>	<p>開設：2月に1施設 4月に5施設。</p> <p>4月より予定通り運営開始 3施設（支援単位）。</p>
収益基盤の強化	その他セグメントの強化	<p>【介護事業】 株式会社テノ、サポート デイサービス：2022年4月 1施設（福岡市） 株式会社フォルテ 2022年1月より当社グループ入り 住宅型介護施設の4施設の運営</p> <p>【結婚相談所事業】 Webサイト「テノマリ」：集客イベントを複数実施し、面談及び登録まで結びつける活動に注力</p> <p>【教育事業】 テノスクール：自治体主催研修の受託件数の拡大に注力</p> <p>【保活事業※】 新規：保活事業の取り組み開始。 保活サイト「保活アシスト」を5月リリース予定。 ※保活：保育所を探す活動</p>	<p>予定通り、4月に「元気のふる里 那珂」開設。</p> <p>株式会社フォルテ 1月末子会社化完了済み。 4施設の運営。</p> <p>継続実施中。</p> <p>継続実施中 九州エリア外→本州の研修事業獲得へも動いており公募へ積極参加 →受講数確認中。</p> <p>リリースにむけ、着実に進捗中。サイトの構成等最終確認段階。</p>
人材の育成と生産性の向上（社内人材）	保育の質のさらなる向上（離職防止策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成の強化、社内での研修の充実</li> <li>エンゲージメントの向上（従業員満足度を高め離職率を減らす施策を実施）</li> <li>デジタル化によるペーパーレスを推進（園運営にかかるマニュアルを整備し、各施設のオペレーションの統一化を図る）</li> </ul>	継続実施中。
採用コストの削減	派遣事業と紹介事業の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社運営の人材採用サイト「保育のとびら」及び「えんぶく！」の拡大に注力 「保育のとびら」登録者数と「えんぶく！」加盟数の増加を図る</li> <li>無償オンライン講座は継続実施し、試験合格から当社施設での就労に至るサポートを強化</li> </ul>	<p>「保育のとびら」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「対応者の顔の見える化」をテーマ（目的：一番安心感のある紹介派遣業者を目指す）に、リットリンクにて担当者のプロフィールを作成し、応募・登録者やメルマガ登録者に配信。ランディングページを作成して、広告運用を実施。</li> <li>「えんぶく！」</li> <li>Instagramのアカウント運用にて認知度UP</li> <li>保育士／幼稚園教諭養成校へポスター配布（保育のとびら &amp; えんぶく！）</li> </ul> <p>第4回無償オンライン講座 期間：1月 7日～ 4月22日 第5回無償オンライン講座 期間：4月26日～10月21日 全38講座（1時講座2時間）</p>

# Section 3

業績予想 2022年12月期  
中期経営計画（2022～2024）と長期ビジョン

# 増収・増益予想 (全社)

(単位：百万円)	2021年 12月期 実績	2022年 12月期 予想	増減率	増減額
売上高	11,454	↗ 12,500	+9.1%	+1,046
営業利益	467	↗ 477	+2.0%	+10
経常利益	455	↗ 459	+0.8%	+4
当期純利益※	237	↗ 257	+8.4%	+20

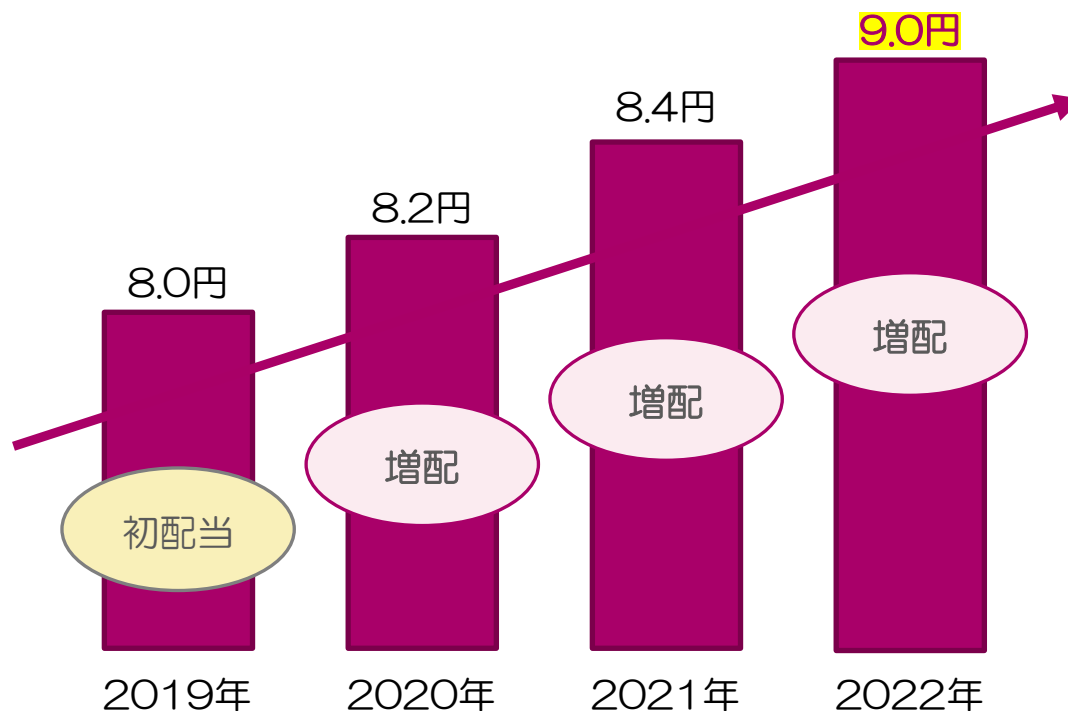
※親会社株主に帰属する当期純利益

## 利益配分に関する基本方針

当社は、将来の事業計画と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

## 2022年12月期の配当金について

2022年12月期の配当予想につきましては、**1株当たり9.0円**で実施予定。





## 社会課題への取り組み

4 質の高い教育を  
みんなに



### 質の高い教育をみんなに

技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



### ジェンダー平等を実現しよう

公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

8 働きがいも  
経済成長も



### 働きがいも経済成長も

若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。



# SDGs：ジェンダー平等を 実現しよう



男女平等を実現し、  
すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

(経営理念)

私たちは、女性のライフステージを応援します。

私たちは、相手の立場に立って考えます。

私たちは、コンプライアンスを推進します。

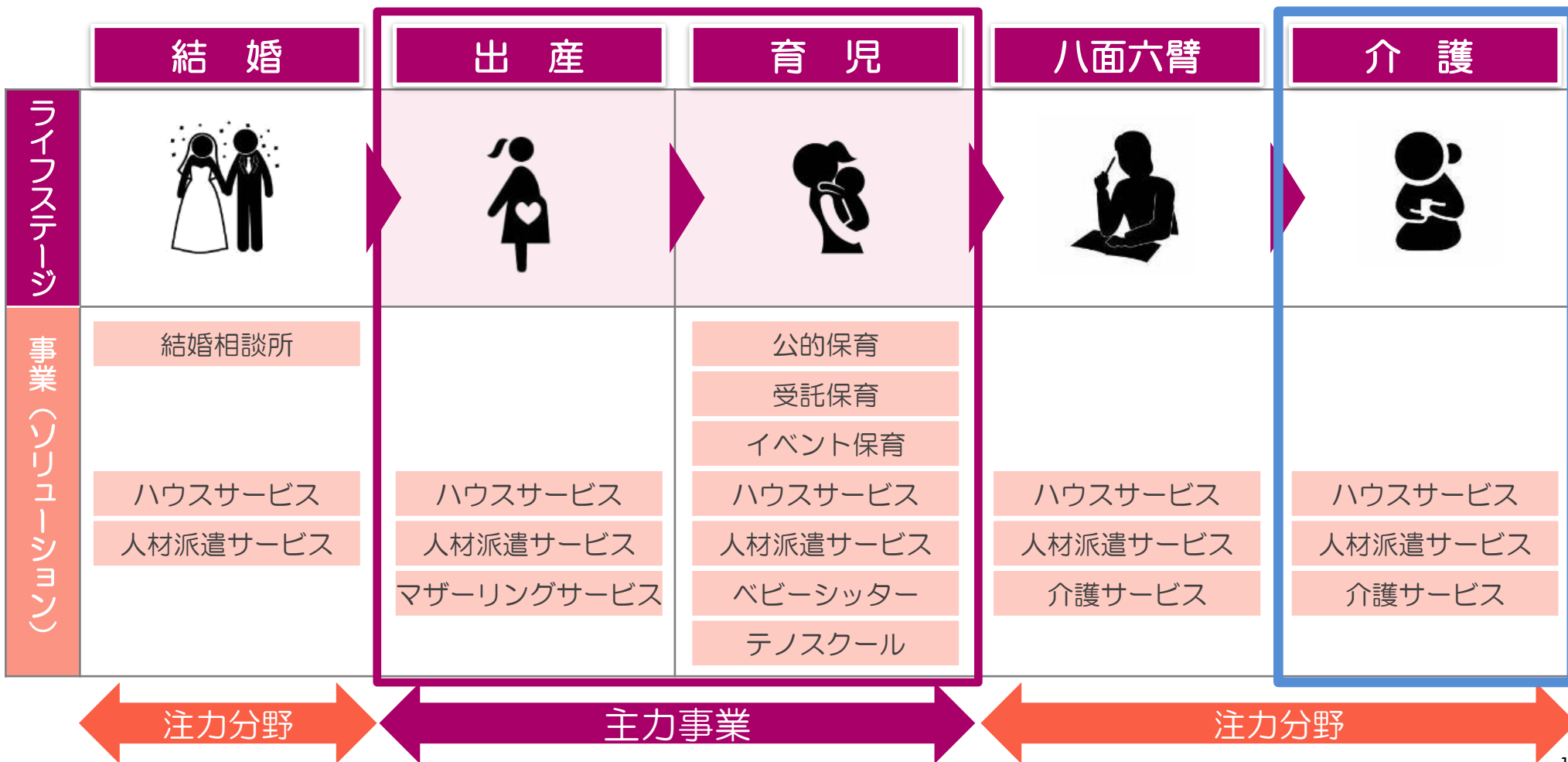
私たちは、事業を通して社会貢献致します。

(ビジョン) **女性が活躍する社会の創造**

(戦略) **女性が活躍する事業展開**

女性が活躍する事業展開とは  
 育児・家事・介護をしても働き続けられる事業

強化



# 「 teno VISION 2030 」

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

## 働き手視点

- >適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- >グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- >客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- >人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- >グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの  
実現により、  
選ばれる  
企業集団へ

## 顧客・クライアント視点

- >便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- >時代のニーズに合った付加価値の提供
- >テノ・グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- >極めて透明な情報開示と財務の健全性
- >対価に対するサービスレベルが適切である
- >個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

## 基本方針

2022年2月14日付

- 1) 公的保育事業、受託保育事業における事業拡大  
(M&Aによる事業拡大も含む)
- 2) 「サービス品質」を追求し、選ばれる施設づくりを行う
- 3) 人事制度と人材育成制度の一体改革に着手する
- 4) 新規事業（保育以外の主力事業へ）を立ち上げる  
(将来への投資として、多くの種まきを行う)
- 5)※ 介護事業における事業拡大に注力し、公的保育事業や受託保育事業に  
続く柱の事業へ成長させる

※ 5. 介護事業における今後の事業拡大について新たに追加

## 長期ビジョン「teno VISION 2030」による事業拡大イメージ

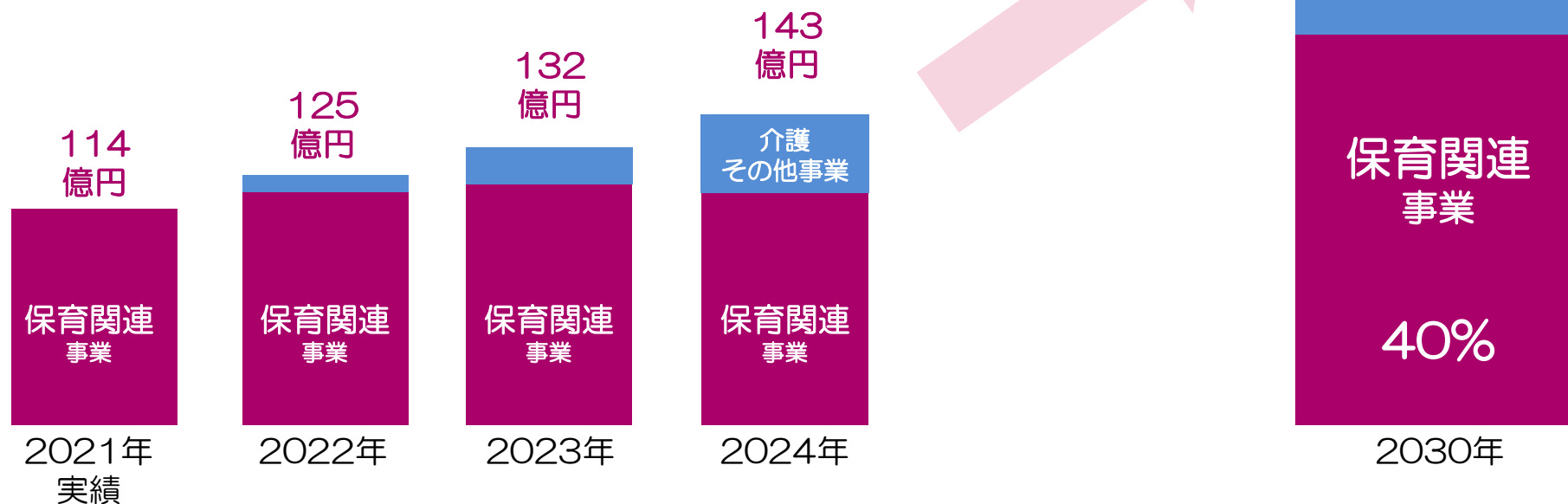
### -事業拡大戦略-

- 戦略1：保育関連事業の拡大
- 戦略2：新規事業の創出
- 戦略3：M&Aによる事業拡大

売上高

500  
億円

介護・その他事業  
売上高  
約6割に拡大



# Section 4

トピックス

## 介護施設

### 株式会社フォルテの株式取得（子会社化）

（持株比率：100%）

（2022年1月31日）

## 目的

## 介護事業のサービスラインアップの拡充



【経営理念】関わる全ての人の、人生の「豊」に寄与する

【事業内容】介護事業、高齢者向け住宅の運営事業

- ・2018年4月に(株)介護事業研究会の生活環境部が独立
- ・大阪府内に介護施設を4施設運営

住宅型有料老人ホーム

 Care Bridge ケア・ブリッジ 永和

サービス付き高齢者向け住宅

 Care Bridge ケア・ブリッジ 下松

住宅型有料老人ホーム

 Care Bridge ケア・ブリッジ 河内花園

住宅型有料老人ホーム

 カシタニハウス 豊中・浜

## 『喜・楽・安・信』

喜び、楽しみ、安心、信頼

ご入居者様一人一人が望まれる『喜・楽・安・信』を受け止め、その実現を積み重ね、私たち自身がすぐにでも入居したいと思えるようなホームづくりに努めます。





保育園と保護者を  
つなぐ

保活プラットフォームサイト

## 保活アシストの立ち上げ

(2022年5月予定)

**保活とは** 子どもを認可保育園等に入れるために保護者が行う活動

**問題点** 情報収集に多くの時間と手間がかかる (アナログな部分が多い)

育休中の母親が  
保活を行なっている

(例)

- ① サイトで情報確認
- ② 役所で冊子をもらい情報収集
- ③ 情報を確認・整理
- ④ 園を絞り込む
- ⑤ 園見学を予約する
- ⑥ 園見学に行く (平日)
- ⑦ 市役所へ申請書提出

保活アシストは、保護者の抱える「不(負)」を軽減することで、女性のライフ ステージを応援します。



新規オープン

## 元気のふる里デイサービス那珂

(2022年4月1日)

元気のふる里デイサービス那珂 新規オープン。

元気のふるさとデイサービス那珂では、ご利用者さまが末永く自立した在宅生活を送れるよう、一人ひとりに合わせた無理のない訓練メニューを実施いたします。最新のリハビリ器具や特別浴槽・充実のレクリエーションで、ご利用者さまから「今日も来てよかった」といっていただけるサービスを提供いたします。元気のふるさとデイサービス那珂は、福岡市内3つ目の店舗となります。



# ほっぺるランド

新規オープン

ほっぺるランド清澄通り勝どき

(2022年4月1日)



## 私たちの想い

### 保育理念

子どもには、安全な環境の中で  
身体的・精神的発達が得られる  
養護と教育が一体となった  
保育を提供します。

家庭のワークライフバランスを実現できる育児支援を行い、  
地域の人々や関係各機関と連携し、  
未来を担う子どもの成長を共に喜び合います。

### 保育目標

- ・生きる力を育てる
- ・思いやりのある豊かな心と個性を育む
- ・友達と協力する力を養う
- ・豊かな想像力や創造力、好奇心を育む



## 子ども像

自分でできることの範囲を広げながら、意欲的に取り組む子ども

楽しく遊ぶ子ども

創意工夫し、最後までやり遂げる子ども

食べることを楽しむ子ども

友だちや保育士等と協力して、できることを  
増やす子ども

集団の中で生き生きと活動し、仲間を大切にできる子ども

思いやりのあるやさしい子ども

ありがとうを言える子ども

楽しさを分かち合える子ども

ごめんなさいを言える子ども

様々な体験を通して感動し、伸び伸びと表現できる子ども

感動を表現できる子ども

考えたことを表現できる子ども

## 第5弾

## 無償オンライン保育士講座 申込受付開始

(2022年4月26日)

新型コロナウイルス感染症対策応援企画としては第5弾目の  
無償オンライン保育士講座を開講いたします。

期間	お申込み日～令和4年10月21日（金） ※上記期間中、いつでも受講いただけます
講座回数	全38講座（1講座2時間）
科目	保育の心理学・保育原理・子ども家庭福祉・社会福祉・教育原理 社会的養護・子どもの保健・子どもの食と栄養・保育実習理論
受講費用	無料
対象者	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、解雇による離職や内定取り消しを余儀なくされた方 採用選考の中止で就職活動が停滞し困っている方 保育士（国家資格）試験の受験をお考えの方 など 上記理由は問いませんが、原則として保育士試験受験資格をお持ちの方

## 自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ

(2022年2月25日)

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため、あらゆるコーポレート・アクションを検討し、実施を行っていくこととしております。今般当社では、今後の事業成長に求められる投資資金、配当水準、及び株価水準等を総合的に勘案し、株主還元の充実と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とすることを目的に、自己株式の取得を実施することといたしました。

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	300,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合6.41%）
(3) 株式の取得価額の総額	100,000,000円（上限）
(4) 取得期間	2022年2月28日～2022年5月31日

# teno.

## HOLDINGS

### 【お問合せ先】

株式会社テノ。ホールディングス

取締役管理本部長 岡田 基司

福岡県福岡市博多区上呉服町10-10呉服町ビジネスセンター5F

TEL : 092-263-3550 FAX : 092-263-3557

- 本資料に掲載する情報は、弊社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。
- 本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。これらは、現在入手可能な情報に基づき、弊社の仮定及び判断に基づくものであり、今後の経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定が将来実現しない可能性があります。
- 本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 今後の新しい情報や将来の事業などの発生が生じたとしても、本資料に含まれる見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き必ずしも修正するとは限りません。